



月刊 愛の園 ニュース



- 愛の園に関する様々な情報をコンパクトにお伝えします -

社会福祉法人神愛会 特別養護老人ホーム愛の園

(0739) 47-1234

2011年1月10日 第3号

今月の記事

理事長から

クリスマス

愛の園後援会

看護職員

今月の愛の園



新しい年を迎えて

あけましておめでとうございます。
カレンダーの表紙がめくられ、2011年の第1ページが新しい顔で挨拶してくれています。「初暦 知らぬ月日の美しく」の句を味わいながら、「皆さんにとって良い年でありますように」と心から願いました。

「月暦」では1月を睦月と呼びますね。目が柔らかくが転じてむつまじいの意味を表すとの事、1年の始まりの月が睦月と呼ばれるのは素晴らしいと思いませんか。家族の健康、幸せを願い、輝き、やわらいだまなざしが、知らず知らずの間に、人と比較して評価する冷たい目、欠点ばかりを責める険しい目、こんなことまでとイライラする目、相手を見ようとしない無関心な目に、変わってしまわぬよう気をつけなくては……。いつも相手を認

理事長 宮崎靖子

め受け容れる、やわらいだ温かいまなざしていたいものです。

さあ、それを実践する為に「はい」「すみません」「わたしがします」「おかげさまで」「ありがとう」の5つの言葉。「はい」の素直な心。「すみません」の反省する心。「わたしがします」の奉仕の心。「おかげさまで」の謙虚な心。「ありがとう」の感謝の心。その5つの灯がいつも心に灯っているように心しながら、神様のみ守りの中、この新しい年を一步一步大切に歩んで行きたいと願っています。

入居者お一人おひとりの健康と幸せを、職員お一人おひとりの多岐にわたる多様な働きの上に神様の祝福とご家族のご多幸を心から願っています。



職員宅からいただいた南天も使ってお正月のロビーを飾りました

愛の園のクリスマス

11月下旬に熊野高校からたくさんのボランティアが届くと、愛の園のクリスマスが始まります。まず、植え込みのイルミネーションが点灯し、エントランスにクリスマスツリーが飾られ、段々とユニットの設えもクリスマス仕様になってきます。

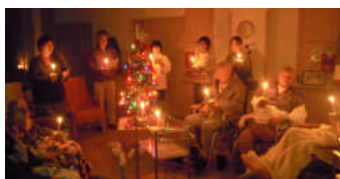
12月に入ると聖劇の練習が行われ、初めて参加する職員は緊張しきりです。歴史あるクリスマス聖劇は劇担当の職員たちにより様々な工夫を凝らしてきましたが、今年は「舞台装置の充実」をテーマに背景やステージの装飾を新しい物にしました。大天使ガブリエルからマリヤ様への受胎告知の場面では、白とピンクの布を使い厳かで幸せな雰囲気が出るようにし、夜の場面では70枚のフェルト布を使い、キリストの誕生を知らせる星が大きく輝くエルサレムの夜景を表現しました。

24日、19時からのイブ礼拝の後、参列

大戸里佳 (介護職員)

者はキャンドルを灯してキャロリングに回り、「きよこの夜」を歌ってユニットの入居者にクリスマスの訪れをお知らせしました。

そしていよいよ25日、聖劇本番です。控室では、緊張顔の職員と『なるようになるさ』といった感じの入居者が入り混じり出番を待っています。そしてオープニングの鐘が鳴り、始まってみれば「あっ」という間。ステージ上には大役をやり遂げた俄か役者とおなじみのコーラス隊が、イエス様のお人形を囲んでいました。今年も無事に終わり感謝です。



キャロリング(上)と降誕劇(右)のひとこま





後援会事務局

支えてくださる人々 愛の園後援会 堀 美都子



上羽寛会長より入居者代表への贈呈式が行われました(上) 祝福式には後援会役員の皆さんがご出席くださいました(右)

「愛の園後援会」は、入居者の幸せの為に少しでも応援したいとの思いから昭和56年に結成され、会員は県内外合わせて約540名いらっしゃいます。

年会費は、一口1000円で何口でも可能で、年1回夏頃に「愛の園後援会だより」を発行しお届けしています。

年1回役員会が行われその前年の事業、会計報告が行われてその年の後援費使途が話し合われます。

今年の敬老の日「一日我が家」では、家族の会との協賛でチンドンや、フラダンス、プラスバンド演奏、よさこい踊りなどの催しを企画しました。毎年のクリスマスには入居者・ご利用者の皆さんに後援会費からプレゼントをしています。今まで福祉車両や大型テレビ、マッサージチェア、特殊浴槽など

数々の贈り物をすることが出来ました。昨年のプレゼントは「近隣病院に通院される入居者の方が増えたが、職員と入居者で通院に使える公用車が足りない。」との声から、後部座席がスロープになり車イスごと乗っていただける軽自動車をプレゼントすることができ、皆さんに大変喜んでいただきました。

結成から30年になる後援会ですから、ご高齢で退会される会員も増えています。後援会の活動をご理解いただき、お一人でも多くご入会いただけるよう頑張っています。



私の仕事 (3) 看護職員 松本泰子



愛の園は「キリストの愛を以て互いに仕える」ことを基本理念とした個室ユニット型の新しい特別養護老人ホームです。その愛の園医務室で看護職員としてお世話になり、早いもので2年が過ぎました。

毎日が時間に追われている状態ですが、山中看護主任をはじめ7人の看護職員の1人として共に頑張っています。主任や上司、同僚スタッフに助けられることも多く、お互いに支えあっている現場です。

入居者・利用者の皆さん1人1人の訴えや感情の変化、症状の変化にいち早く目を向け耳を傾けて、医師の指示の元で対応や処置を行います。緊急対応の必要性を

感じる場合は医療機関への受診も相談し検討しています。

高齢者施設では摂食・嚥下障害の方への対応、日常の感染予防対策の理解、終末期の判断の難しさなどが課題ですが、看護職員はその時々や場面ごとでミスやトラブルを未然に防ぐ責任ある立場であることを痛感しています。

今後も看護職員が同じ理解のもとに、看護を通じて入居者・利用者の皆さんの安全で快適な日常生活をサポートし、日々を楽しく過ごしていただけるよう努力し頑張っていきたいと思えます。

応援をよろしくお願いいたします。

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

1～2月の愛の園

- 11 火 マリヤ会
- 13 木 やまびこ会
- 18 火 ひまわり会
- 19 水 手芸サークル
- 25 火 マリヤ会
- 26 水 歯科診療
- 27 木 やまびこ会

- 3 木 節分・豆まき
- やまびこ会
- 8 火 マリヤ会
- 10 木 やまびこ会

編集者から

新年明けましておめでとうございます。

旧年中はボランティア、家族の会、後援会の皆様はじめ多くの方々にご支援ご協力を頂きありがとうございました。

元旦に子供の頃を思い出しながら愛の園で凧揚げをしました。すぐに落下して骨組みが折れてしまいましたが、なんとか棒を補強すると空高く飛び、入居者の方々にも喜んで頂くことができました。

最近凧揚げをしている子供をあまり見かけないので少し寂しい気がします。

この1年が皆様にとってよりよい年となりますよう心からお祈り申し上げます。(I)

ホームページもご覧ください。
Web サイト アドレス:
<http://shinai.or.jp>